

C 2 クラス 卒業制作

1. 卒業制作レポート提出の内容について

ア) A 4 縦の用紙. 原則としてワープロ使用. レポート B 以外は枚数の指定はなし。
また, レポート B 以外は表紙, 目次をつけること。

イ) 作品を作って提出する場合

a) レポート A (卒業論文にあたるもの)

2 で詳細について記述するので, 形式に従って作成すること。

b) レポート B (抄録にあたるもの)

レポート A の内容を A 4 用紙 2 枚にまとめる。

d) プレゼンテーション用の資料・・・発表するグループのみでよい

プレゼンテーションを行うときに使用する説明用の画面 (HTML で作成)

e) ソース, データ, exe (実行形式) の入っているメディア

ウ) どのレポートも図表をうまく取り入れてわかりやすく書くこと。

エ) 図表には図番 (図の下)・表番 (表の上) をつけること。

2. レポート A (卒業論文)

0) 表紙

タイトル

クラスー X X 氏名 1

クラスー X X 氏名 1

クラスー X X 氏名 1

東京電子専門学校 情報処理科

2022 年度 卒業制作

(2023 年 x 月◎日提出)

1) 目次 (ページも必ず付けること))

第 1 章 はじめに

1. 1 背景

1. 2 目的

1. 3 作成目標

1. 4 (主要概念) とは

【 必要に応じて記述する。例えば, 通信ネットワークについてなど 】

第 2 章 システムを実現する上で

【 この章では, 本システムが動く環境とシステムの使用方法について記述する

というようなことを、本文中で書けばよい】

- 2. 1 システム環境
- 2. 2 使用言語の考察
- 2. 3 操作説明
 - 2. 3. 1 操作手順【画面説明も含む】
 - 2. 3. 2 注意事項

第3章 実現方法

【この章では、モジュール構造、データ構造、アルゴリズムについて記述する
というようなことを、本文中で書けばよい】

- 3. 1 モジュール構造【機能ごとのモジュール構造図と各モジュールについて説明する】

- 3. 2 データ構造 3. 3 アルゴリズム
- 【機能ごとに、概要を説明し、その後、図で概略PADを示す。必要に応じて
詳細PADも記述する。】

第4章 おわりに

- 4. 1 問題点
- 4. 2 今後の課題

参考文献

付録

【付録には、実行結果、ソースプログラムなどを付ける。必要に応じてページを
付け、目次も付けたほうがよいときは、付録の目次も作成する】

3. レポートB（レポートAを2枚にまとめる）

タイトル：
使用環境と言語：

■ 事例制作要旨

- 1. 目的と背景
- 2. システム概要
- 3. 操作説明
- 4. 考察と評価
- 5. 今後の課題

4. スライド

レポートBの内容をわかりやすくまとめる